

1 文献名
『くろしお』
2 学校名
錦小学校
3 災害名
昭和 19 年（1944 年）東南海地震
4 記述の概要
<p>（1）雨や風、地震などの様子</p> <p>大強震は 1 分 8 秒に及んだ。十数分して大津波が飛沫を上げ、堤防より逆巻く怒涛となって押し寄せた。十数分して第二回の津波が押し寄せた。第三回、第四回の津波によって益々被害が拡大した。（P33）</p>
<p>（2）学校内や地域の被害の状況</p> <p>町民はいち早く、浅間神社・錦神社、忠魂碑、金蔵寺、青年学校、国民学校などに避難したが、築地町・船町・浜町・里町・角町の全域、石橋町の海岸通り、福羅町の大半の民家は見ると見ると中に将棋倒しとなって流失した。第二回の津波で、福羅町・的場町・石橋町の大部分、中町の一部の民家が倒壊流失した。</p> <p>倒壊家屋の古材が浦に充満し、これに乗って救いを求める者、沖に出漁中で家族を案じて浦まで帰ってきて転覆溺死する者があった。</p> <p>無被害はわずかに 91 戸で、倒壊 192 戸、流失 255 戸、半壊 65 戸、浸水 170 戸、死者は男子 23 名、女子 41 名に達した。（P33）</p>
<p>（3）復旧の様子</p>
<p>（4）体験談</p>
<p>（5）教訓など</p>
<p>（6）その他</p>